

原発事故が福島に残したものは・・・

「3.11」から3年半。マスコミの原発事故報道が減っている。原発事故は収束していない。福島の被災住民の苦しみは拡大している。被災住民が自分の手で福島の今を映像ドキュメント化した。全国の多くの皆さんが「観て」「語る」ことで「被災地支援」をして欲しい。多くの方に広めてください。

「原発をなくすいわき市民の会」制作

「福島原発事故・・・絶望から希望へ」の続編・完成しました。

あやまれ つぐなえ なくせ原発・放射能汚染

～いわき市民と、避難住民のたたかい～ 【48分】



頒価 1,000円

【購入申し込み】

■裏面のFAX用紙で 0246-68-6771 へ送付する

【代金支払い】

- 同梱された「振込み用紙」で送金する
- 口座振り替えは下記をご利用ください。
ゆうちょ銀行口座へ
記号番号 022407 番号 135343
(ゆうちょの通帳を利用してATMから送金すれば「無料」です)
※他の金融機関からの振込む場合は
次の内容を指定してください。(有料)
【店名】二二九(読み ニニキュウ)
【店番】229 【預金種目】当座
【口座番号】0135343

【連絡先】

原発事故の完全賠償をさせる会
〒973-8402 いわき市内郷御厩町三丁目101
いわき教育会館内
TEL0246-27-3322 FAX0246-68-6771

【共同制作】

原発事故の完全賠償をさせる会
元の生活をかせせ・原発被害いわき市民訴訟原告団
ふるさとをかせせ・福島原発避難者訴訟原告団

何十年にわたる低線量被曝に晒されているいわき市民とふるさとを奪われた避難住民が手を組み、東京電力や国を相手に、裁判に立ち上がった。原発事故から3年半。収まることのない事故の被害、それとたたかう人々の姿を追う。

【いわき市民訴訟原告】

福島第1原発3号機爆発時、赤ちゃんを抱いたまま屋外を走って逃げたお母さん。

「今でも苦しんでいます。子どものことなので、私はずっと引きずっていくと思います」

原発事故後、子どもたちを外で存分に遊ばせることができなかった保育園理事長、小野正子さん。

「この事故によってどれだけ子どもたちの発達を阻害したか、その事に尽きます」

息子がいわきでの農業をあきらめ、福島に働きに行った阿部節子さん。

「福島のものを取り引きできないと打ち切られた」

【避難者訴訟原告】

双葉町から避難し、お父さんの介護をしながら仮設住宅で暮らす小川貴永さん。

「震災後の生活は自分自身に決定する権利がない、生きているよりも生かされている感覚です」

川俣町山木屋から避難中に奥さんを自死で亡くした渡辺幹雄さん。

「事故前の山木屋に戻してもらいたい、何もいらぬから女房返してもらいたい」

いわき市民訴訟原告団長・伊東達也さん。

「いわき市民と避難者・2つが双子のように切っても切り離せないような裁判活動をしよう」

避難者訴訟原告団長・早川篤雄さん。

「私たちの勝利は、我々が連帯をすること、団結をすることにかかっている」